

## 第2章 地域包括ケアシステム構築の課題と方策

### 1 システムのマネジメント

- 地域包括ケアシステム全体のマネジメントとしては、主に以下の5つの働きが必要である。
  - ① 地域の社会資源（NPO等インフォーマルな団体等を含む）の把握と、そのネットワーク化
  - ② 住民ニーズの把握
  - ③ 地域の高齢者に対する総合的な相談窓口
  - ④ 地域の関係者等による個別の困難ケースへの対応の協議
  - ⑤ 個別ケースの対応の検討を通じた地域の課題の抽出
  
- これらを担う機関については、地域の状況に応じて様々となってくることから、市町村、地域包括支援センター、地区医師会が協力して全体のマネジメントを行うこととし、中心となる機関は、地域において、その実情により定めるべきである。
  
- なお、市町村は、住民に最も身近な基礎的な自治体であり、地域包括ケアシステムの構築において中心的な役割を担うべき立場にある。関係機関連絡会議等を開催し、個別ケースの検討等で抽出された課題等の解決方法（基盤整備等）を検討していくことが期待される。

### 2 ICT（情報通信技術）の活用

- 上記の関係機関の連携に当たっては、利用者の情報の共有が必須である。利用者に適切なサービスを提供するためには、医療機関、介護事業所、居宅介護支援事業所といった関係機関が、利用者の健康状態やサービスの利用状況、家庭状況等といった情報の共有がなされて初めて可能となる。
  
- しかしながら、県が平成24年度に実施したアンケート調査によると、診療所等と居宅介護支援事業所等とが連携する上で困難な点として、診療所等の側からは「情報の共有ができていないこと」を、居宅介護支援事業所側からは、「主治医が多忙であること」を多く挙げており、限られた時間や人的資源の中で、効果的、効率的な情報の共有方法が求められていることがうかがえる。
  
- これまでは、電話やFAX等で情報の共有が図られてきたが、今後は、利用者へのより適切なサービスの提供という観点から、連携する関係者や利用

者の情報量は増加し、アナログでの対応は困難となってくると考えられる。そこでICT（情報通信技術）を活用した情報共有、処理方策により、さらに円滑な連携が期待できるものである。また、利用者のカンファレンス等に多忙な医師が参加することは困難なこともあり、こうした場合にICTを活用した情報共有が効果を発揮すると考えられる。

- 「東京大学高齢社会総合研究機構」の調査（\*）によると、医療と介護の連携を目的とした情報システム利用状況は、回答のあった団体の12.0%となっており、情報システムの普及はまだ少ない状況にある。

一方で、「利用していない」と回答した団体のうち、「利用したくない」という回答はわずか2.8%となっており、利用のニーズは高いと考えられる。

また、情報システム利用の効果として、在宅療養支援診療所は「関係者の協力による負担軽減」、「専門多職種との連携による学習機会の増加」等を、居宅介護支援事業所は「ケアアセスメントの精度向上」、「業務処理量の向上」等を上位に挙げており、ICTの活用による効果は高いと考えられる（図3～6）。

（\*）平成24・25年度厚生労働省老人保健健康増進等事業

「在宅医療と介護の連携のための情報システムの共通基盤のあり方に関する調査研究」

- 愛知県内でもICTを活用した情報の共有が試みられており、例えば、豊明市では、住民の医療・福祉（介護）・健康情報を電子的に管理し、関係機関で共有するための「在宅医療・福祉統合ネットワーク『いきいき笑顔ネットワーク』」が構築され、関係機関の連携促進に効果をあげている（図7）。

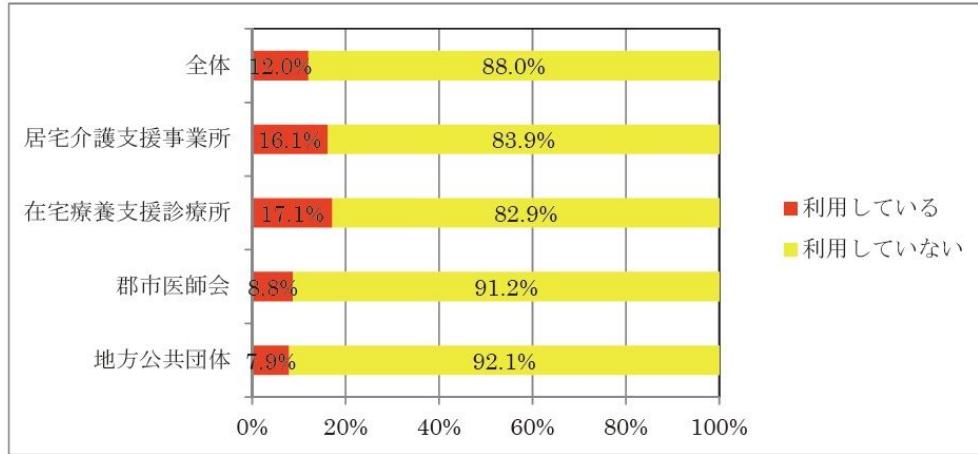
「いきいき笑顔ネットワーク」は、愛知県医師会社会福祉専門委員会の指導のもと、東名古屋豊明市医師会、豊明市、藤田保健衛生大学病院、名古屋大学医学部附属病院脳卒中医療管理センター、地域包括支援センター、在宅医療に関わる事業者等により、連絡協議会が立ち上げられているが、平成25年9月からは、愛豊歯科医師会豊明支部、日進東郷豊明薬剤師会も加わるなど、広がりを見せている。

- 今後は、県内各地域において、このようなICTの利活用が望まれるが、その導入にあたっては、住民サービスを担う市区町村が、公益を担う医師会とともに、情報システムを通じて関係者の連携を促進させることについて働きかけることが重要である。また、ICTを活用するためのインフラの整備や個人情報を守るセキュリティーの構築が必要である。

### システムの利用状況（図3）

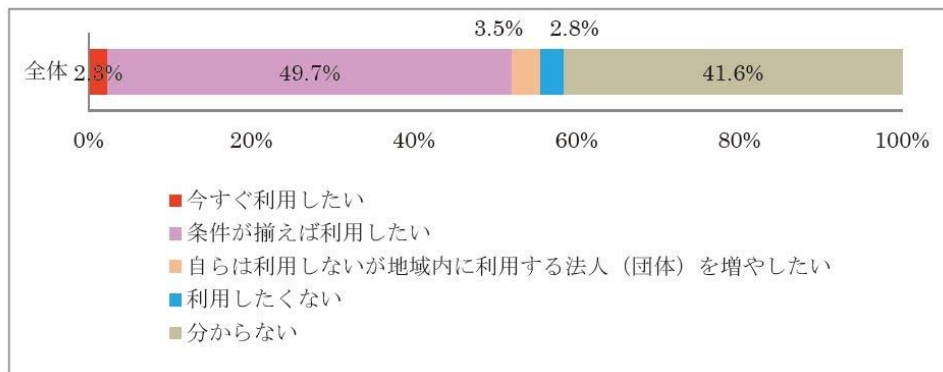
貴法人（団体）では、「情報システム」を利用されていますか。

図 2.1 情報システムの利用状況



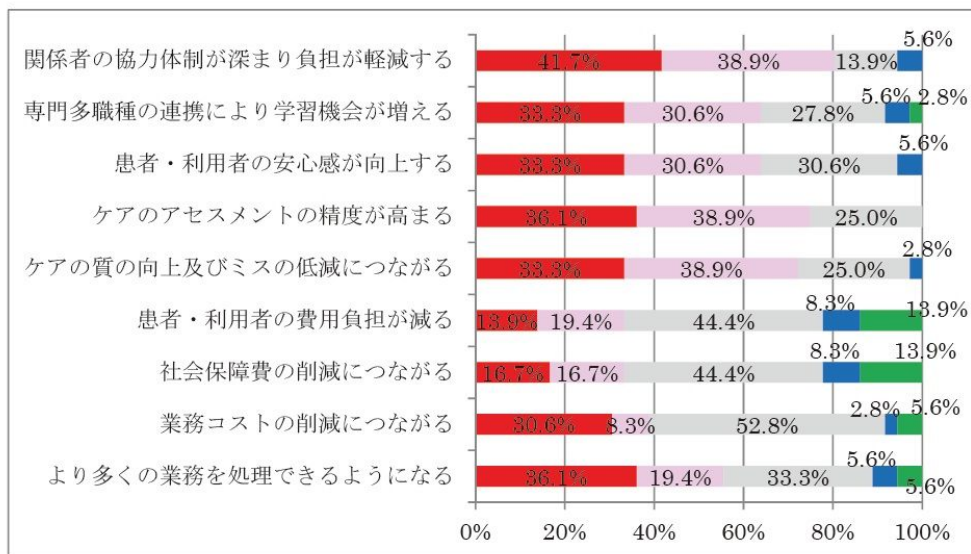
### システムの利用意向（図4）

図 2.2 情報システムに対する利用の意向（母数は現在情報システムを利用していない団体）



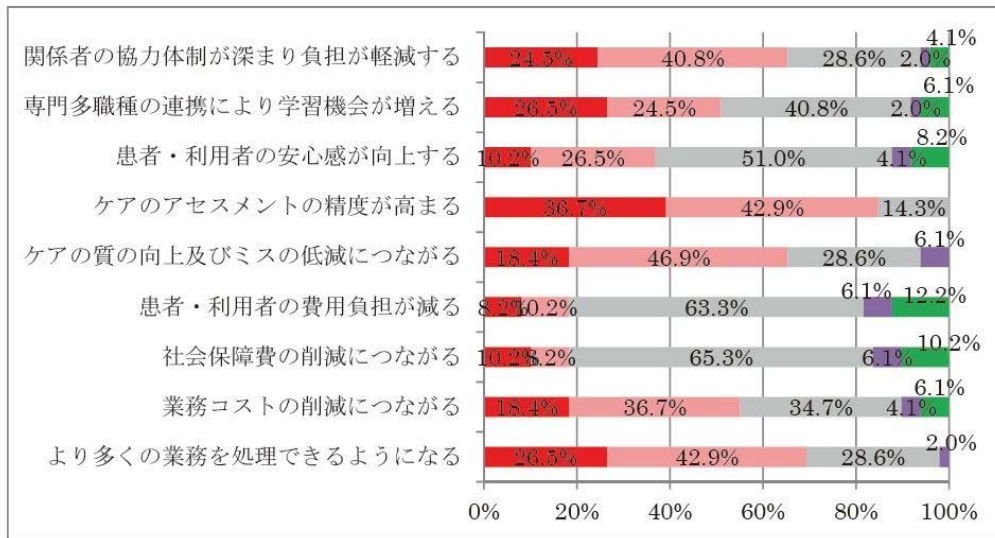
### システムの利用効果（在宅療養支援診療所） 図5

図 2.4.6 情報システムに対する評価（事由別）在宅療養支援診療所

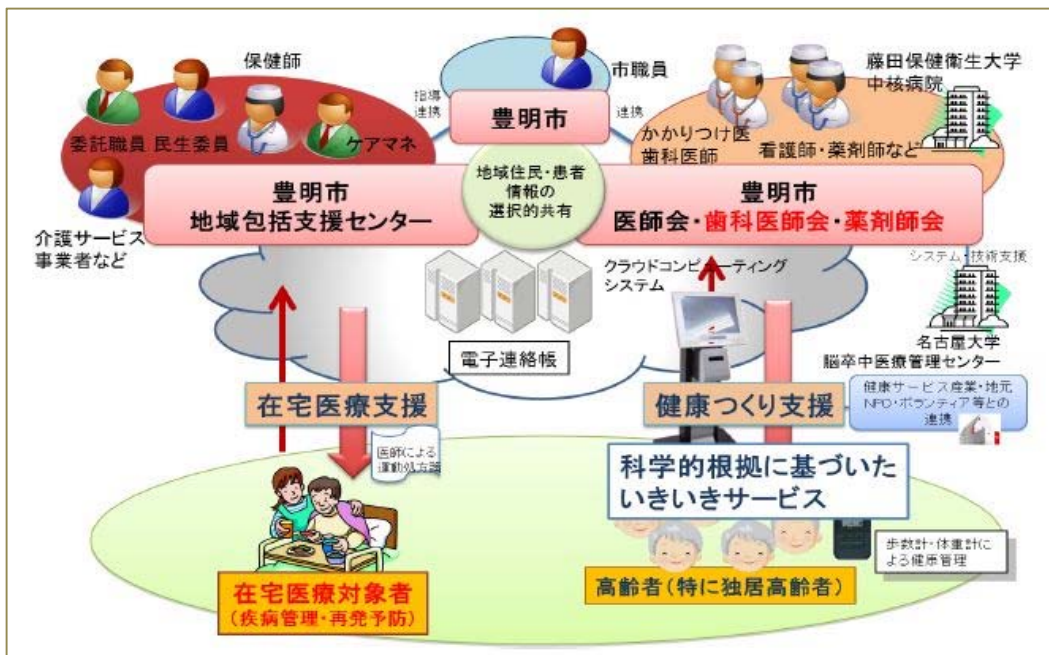


システムの利用効果（居宅介護支援事業所） 図 6

図 2.4.8 情報システムに対する評価（事由別） 居宅介護支援事業所



いきいき笑顔ネットワークのイメージ図（図 7）



豊明市 HP より